

令和4年度 第1回 久留米市食育推進会議

日時：令和4年8月3日(水)

15時～16時30分

場所：職員会館メルクス3階ホール

1 会長あいさつ

2 委員紹介

3 第4次食育推進プランについて

4 議案

第1号議案 令和3年度 食育推進会議 事業実績及び決算、監査

第2号議案 令和4年度 食育推進会議 事業計画(案)、予算(案)

5 報告

(1) 第3次食育推進プランの達成状況

(2) 第4次食育推進プランに基づく令和4年度の事業計画

6 その他

久留米市食育推進会議委員名簿 (R3. 5. 1～R5. 3. 31) 委員

◎会長、○副会長、☆監事

		団体名	役職	氏名
1	行政	久留米市	副市長	◎ <u>橋本 政孝</u>
2	学識経験者	久留米信愛短期大学 フードデザイン学科	学科長	○山下 浩子
3	教育・保育 関係機関	久留米市立善導寺小学校	校長	<u>江島 陽子</u>
4		久留米市立三瀨中学校	校長	佐野 淳
5		久留米市立南筑高校	校長	山下 経男
6		(一社) 久留米市保育協会 木の実保育園	園長	<u>木下 由美子</u>
7		久留米市私立幼稚園協会 日善幼稚園	園長	早川 生子
8		久留米市小・中学校 PTA 連合協議会 京町小学校	副会長 PTA 副会長	<u>眞木 香代子</u>
9		久留米市小・中学校 PTA 連合協議会 北野中学校	家庭教育委員	<u>田中 詩織</u>
10	健康・医療 関係機関	(一社) 久留米歯科医師会 のん KIDS DENTAL 院長	歯科医療委員会委員長	山下 伸子
11		(一社) 福岡県歯科衛生士会 南支部	支部長	佐藤 総子
12	保健衛生関 係機関	久留米市食品衛生協会	専務理事	高原 雄二
13	農商工業関 係機関	JA くるめ青年部	副部長	<u>廣重 宏治</u>
14		JA くるめ女性部	部長	高田 恵子
15		久留米商工会議所	事務局長	☆ <u>笠 智宣</u>
16	市民団体	久留米市食生活改善推進員協議会	会長	☆宮地 陽子
17		NPO 法人栄養ケア・ちっこ	理事	山崎 禮子
18		スローフード協会筑後平野	会長	梅本 貴志
19	行政	久留米市健康福祉部	保健所長	吉田 まり子
20		久留米市子ども未来部	部長	豊福 由紀子
21		久留米市環境部	部長	甲斐田 忠之
22		久留米市農政部	部長	<u>半田 祐介</u>
23		久留米市教育部	部長	秦 美樹

※太字で下線を引いている委員の任期は、R4年度からの新任委員。

令和3年度 久留米市食育推進事業実施報告

1. 事業実績

新型コロナウイルス感染症の影響をうけたものの、第3次食育推進プランの共通施策「食育への理解と関心を高める」に基づき、市民の食育への理解や関心を高めることを目的に、『くるめ食育パネル展』の開催や、メールマガジンや市公式ラインによる食育に関する情報発信を行った。

また、第4次食育推進プランの策定に向けて、第3次プラン基本施策の事業実績、目標指標の達成度について、全体評価（総括）を行い、審議を重ね、年度末に第4次プランを策定した。

(1) 食育推進会議の開催

第3次食育推進プランに則り、本市の食育推進事業を計画的に進めるとともに、第4次食育推進プランを策定するための協議を行った。

	時期	内容
第1回	令和3年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度事業実績、決算、監査 ・ 令和3年度事業計画(案)、予算(案) ・ 第3次食育プランの進捗状況確認 ・ 第3次食育プラン基本施策の事業実績、目標指標の達成度・全体評価
第2回	令和3年8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次食育推進プラン総括から導かれる次期プランの考え方 ・ 第4次食育推進プラン骨子（案）
第3回	令和3年12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4次食育推進プラン素案
第4回	令和4年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4次食育推進プラン案に対するパブリック・コメントの結果について ・ 今後のスケジュール

(2) 食育啓発展示『くるめ食育パネル展』の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「ふるさとくるめ農業まつり」が中止となったために、市内公共施設等4カ所で『くるめ食育パネル展』を開催するとともに、パネルに使用したデータは市ホームページにも掲載し、情報発信を行った。

あわせて食育に関するクイズを行い、正解者の中から抽選で各会場10名に景品(久留米産新米1kg等)を送付することにより、食育に興味を持ってもらうようにした。

これらパネル展を通して、市民の食育への関心の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践できるよう啓発を行った。

- 日時・会場：①令和3年11月15日(月)～23日(火) ゆめタウン久留米店
②令和3年11月24日(水)～12月9日(木) JR久留米駅東西自由通路
③令和4年1月21日(水)～2月3日(木) 久留米市三潞生涯学習センター
④令和4年2月4日(金)～2月20日(木) 久留米市田主丸複合文化施設

内容：食育推進プランや、食育都市宣言、4つの基本施策に関するパネル展示、食に関するクイズやパンフレットの設置 など



(ゆめタウン久留米店)



(JR久留米駅東西自由通路)



(三潞生涯学習センター)



(田主丸複合文化施設)

(3) 食育啓発事業

(「食育友の会」・市民への啓発)

- ・イベントや食育に関する情報提供(郵送1回)
※食育友の会会員 令和4年3月31日現在 230人
- ・毎月19日の『食育の日』に、食育推進会議の各専門部会の取組内容を「食育通信」としてまとめるとともに、各団体から寄せられた食育関連情報を市ホームページに集約して掲載し、これらの情報について市公式LINEを活用して、発信を行った。

(職場への食育啓発)

- ・毎月19日の『食育の日』に、「食育通信」等としてまとめた食育関連情報をメールマガジンや産業ニュース等を活用して、情報発信した。
(小中学校、校区コミュニティ組織、久留米市職員へ向けたメール、産業ニュース)
- ・久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として、早く帰宅して家族との食事を楽しむことを呼びかける取組を行った。

2. 令和3年度久留米市食育推進事業決算書

(収入)

(単位：円)

項目	R3予算	R3決算	比較増減	内 訳
市補助金	890,000	470,221	▲ 419,779	419,779円を市へ戻入
雑入	0	4	4	預金利息
合 計	890,000	470,225	▲ 419,775	

(支出)

(単位：円)

項目	R3予算	R3決算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	290,000	290,741	741	会議4回(謝金、振込手数料、お茶代、郵送代等)
事業推進費	600,000	179,484	▲ 420,516	食育啓発展示経費
合 計	890,000	470,225	▲ 419,775	

監査報告書

久留米市食育推進会議の令和3年度事業ならびに運営について、令和3年度事業実績、及び、決算に基づき出納簿、領収書、その他関係書類を監査したところ、その内容については適正に処理されていることを報告します。

久留米市食育推進会議会長 殿

令和 4年 5月 27日

監事 笠 智宣 

令和 4年 5月 27日

監事 宮地 陽子 

令和4年度 久留米市食育推進会議事業計画（案）、予算（案）

1. 事業計画（案）

(1) 食育推進会議の開催

第4次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行う。

時 期	内 容
第1回 令和4年8月3日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業実績、決算 ・令和4年度事業計画（案）、予算（案） ・第3次食育推進プランの事業計画の達成状況 ・第4次食育推進プランに基づく事業計画
第2回 令和4年10月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・食育啓発展示事業計画詳細 ・第4次プランに基づく事業の進捗状況

(2) 食育啓発展示の開催

市民への食育啓発を目的とした展示会を開催する。

市民の食育に関する認知度・関心度の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践し、健全な食生活を実施できるよう啓発を行う。

日 時：令和4年11月12日（土）、13日（日）（予定）

※第48回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：未定

内 容：食育関係資料などの展示コーナー・食に関する相談やクイズ など

※新型コロナウイルス感染症の状況や予防対策のため、内容等は変更する場合がある。

(3) 食育動画展示

国が定めた6月の「食育月間」にあわせて、「新しい生活様式」に対応した食育啓発動画を、市庁舎で放映することにより、来庁している市民に対して、食育を啓発する機会を創出するとともに、各専門部会の活動をPRする。

日 時：令和4年6月15日（水）～24日（金）

場 所：市庁舎1階ロビー

内 容：『手軽に美味しく！主食・主菜・副菜をそろえよう』、『久留米市地産地消推進動画』、『生ごみリサイクルシリーズ』の放映及びPR チラシの設置

(4) 食育啓発事業

(市民に対する啓発)

- ・毎月19日の『食育の日』に「食育通信」を配信する。
(市公式ライン、小中学校、校区コミュニティ組織、久留米市職員へ向けたメール)
- ・「食育友の会」会員に対して、イベントや食育に関する情報提供を行う。
- ・市内事業所向けに食育推進の啓発を行う。
- ・久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として呼びかける取組を行う。

2. 令和4年度久留米市食育推進会議予算（案）

（収入）

（単位：円）

項 目	R4予算	R3予算	比較増減	内 訳
市補助金	745,000	890,000	△ 145,000	
雑入	0	0	0	預金利息
合 計	745,000	890,000	△ 145,000	

（支出）

（単位：円）

項 目	R4予算	R3予算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	145,000	290,000	▲ 145,000	会議2回（謝金等）
事業推進費	600,000	600,000	0	食育啓発展示 （開催費及び事務費）
合 計	745,000	890,000	△ 145,000	

第3次食育推進プランに基づく令和3年度事業実績

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	1-1	ページ
基本施策Ⅱ	健全な食生活を推進する食育 【食と健康部会】	1-4	ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育 【地産地消部会】	1-5	ページ
基本施策Ⅳ	環境との調和を図る食育 【食の循環部会】	1-6	ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	1-6	ページ

《基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 食に関する指導の充実

①	久留米市栄養教諭等研究会の活動の推進	栄養教諭等が行う食育の授業や短時間の食育指導を市内全小中学校において実施し、食に関する指導の充実を図ります。	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭未配置の中学校において、1年生を対象に、配膳指導、遅食・偏食生徒への個別指導、食育啓発活動を実施(10校/10校【高牟礼・宮ノ陣・荒木・屏水・江南・櫛原・青陵・明星・牟田山・三潁】)。 ○給食の時における指導の充実として、映像資料の作成(「やさい きらいくんのおはなし」「作ってみよう!朝ごはん」「食事マナー」「手を洗おう」等)と活用を行った。	521	学校教育課
		料理教室の開催、保護者や教職員向けの通信等の作成・配布など、授業以外での食育推進活動についても支援し、その充実を図ります。	○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」を作成・配布した。(年3回) ○食に関する体験活動や食育推進の取組に対して助成を行った。(実施校数:小9校【田主丸小・山本小・高良内小・青峰小・江上小・水分小・御井小・水縄小・荘島小】) ○未就学児とその保護者への啓発を実施した。(実施校数:小44校) ○保護者への食育啓発として、朝ごはんレシピカード・調理動画の作成を行った。朝ごはんレシピカードは、子どもが作れるレシピをカードにして校内掲示・児童へ配布し、調理動画は、市公式YouTube及び市ホームページに掲載した。		学校教育課

●個別施策2 家庭への食育啓発の促進

①	食育啓発促進校のPTAが行う食育啓発への支援	食育啓発促進校に指定された学校(市内小中学校から年間5~6校)のPTAが行う食育啓発の取組を支援します。	○食育啓発促進校(7校)において、学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図った。 <R3年度促進校> 水縄小・柴刈小・城島小・大善寺小・田主丸中 宮ノ陣中・屏水中 <活動内容> 食に関するアンケート、生活リズムカード 食育に関する講演会、お弁当の日、おにぎりの日の取組等	201	学校教育課
		促進校に指定された学校が、成果や課題を次年度以降の取組に反映させるように支援を行います。	○促進校であった学校が継続的に取り組むことができるよう、校長会にて情報提供や働きかけを行った。		-

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
●個別施策3 学校給食を通じた食育の推進					
①	給食時間における食に関する指導	学校給食が、教科等と関連した「生きた教材」として活用されるよう、給食時間における食に関する指導の年間計画を作成します。	○食に関する指導の年間計画に基づき、行事食、各地の郷土料理、世界の料理や、教科等でとりあげられた食品や学習したことが確認できる献立を実施した。 ○オリンピックキャンプ地誘致国の料理や、防災の日に災害食を体験する献立を入れるなどの工夫を行った。 教科等と関連した献立導入14回	-	学校保健課
		献立のねらい(栄養バランスやかむこと等)に基づいた給食指導資料を作成し、給食時間の放送資料として配布します。	○給食の献立に、「和食の日」「カミカミ献立」「郷土料理」「世界の料理」「行事食」「朝ごはんの日」を毎月とり入れ、繰り返し「給食」という体験を通じた給食時間における指導の内容充実を図った。 また、学校給食に関する標語の募集を児童生徒対象に行い、最優秀作品は献立表や給食便りに掲載した。 応募総数5,173作品 表彰数 11作品 表彰校1校 ○新しい生活様式にそった給食の取り方、衛生指導の徹底を図った。	-	学校保健課
		子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、給食だよりの発行や試食会の開催等で、家庭への食育啓発を行います。	○児童配布献立表や給食だよりの「ランチタイム」で食の情報を毎月発信した。 ○保護者や地域の方に対し、試食会を開催した。 ○入学説明会時にリーフレットを作成し就学前の家庭に配布した。	-	学校保健課
②	学校給食への久留米産農産物の導入促進	毎月2回、久留米産の米を使用した主食(ご飯、米粉パン)と旬の久留米産野菜を使用した副食による「地場産の日」を実施します。	○久留米産農産物を多く使用した献立「地場産給食の日」を、毎月2回実施した。久留米産米の消費拡大を図るとともに、久留米産農産物の利用拡大・普及啓発に努めた。 また、献立表や掲示物等で子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図った。	-	学校保健課
		久留米産農産物の積極的な活用を念頭に置いた献立年間計画を作成するとともに、新規献立を考案し、実施献立について工夫改善を行います。	○献立年間計画を基に、久留米産農産物を活用した新献立の開発、工夫・改善に努めた。 新献立導入数:15品	-	学校保健課
		学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを行い、調理技術スキルと意欲を高め、学校給食における食事内容の充実と多様化を図ります。	地元食材等を使った献立の開発を行うとともに、学校給食料理コンクールを書類開催した。 市:参加16チーム 1位御井小 2位善導寺小 3位北野中 県:参加24チーム(内、久留米市からは御井小参加)	-	学校保健課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策4 保育所、幼稚園、認定こども園での給食や活動を通じた食育の推進

①	子どもに適した給食の提供と食育活動の継続	各園で実施されている給食について、子どもたちの発育・発達、健康状態、生活状況などに応じて給食の提供が行われるよう、適切な食事計画や献立作成を行うための情報提供や研修等を実施します。	○施設職員向けの給食・食育研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止及び予防の観点から各研修会も回数減となった。 ・公立保育所 2回(給食献立の検討) ・公立及び私立保育所 3回(食育研修) ・保育所 認定こども園 幼稚園 中止(衛生管理研修) ○認可保育所等での3歳以上児への主食提供給食の充実及び家庭の負担軽減等を図った。	55,864	子ども保育課
		各園の食育計画に基づいた食育実践の取組を継続するとともに、市食育事業に関する情報提供を行います。	○各園の食育計画等を基に、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、園児と保育士によるクッキングなどの食育の取組を実施した。		
②	保護者への食支援	おたよりの発行、給食試食会や親子クッキングの実施、保護者向け食育講座の開催など、保育所、幼稚園、認定子ども園を拠点として、家庭を含めた保護者への食支援を行います。	○保護者向け食育取組状況は次のとおりだった(保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査結果・複数回答) <取組をした項目・回答割合> ・給食展示87.5%、給食だより82%、栄養成分表示72% ○出前講座は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次の講座は未実施。 ・市栄養士による食育講座 ・食に関する外部講師による食育講座	-	子ども保育課

●個別施策5 子育て支援事業等を通じた食育の推進

①	地域子ども子育て支援センター等での食育事業	食育講座、離乳食相談会の開催など、地域子育て支援センター等の子育て支援施設を拠点として、子育て支援事業を通じて共食など家庭での正しい食習慣の推進を図ります。	○食育事業の実施 計13回(199人) ・地域子育て支援センターによる食育講座・3回(53人):幼児食の講話と調理のデモンストレーション ・子育て交流プラザくるるんによる離乳食相談会・9回(131人):離乳食の講話と個別相談 ・児童センターによる食育講座(乳幼児食の講話)・1回(15人)	4	こども子育てサポートセンター
②	幼児の食に関する情報の提供	冊子やインターネットなど様々なツールを使った幼児食レシピ等の紹介や正しい食習慣についての情報提供、食育イベント等での啓発により、幼児の食に関する情報提供を充実します。	○乳幼児の食に関する情報提供啓発冊子(子どもたちにたべさせたい料理レシピ:朝ごはんを毎日食べよう)の配布13,500部作成し、保育所や認定こども園、幼稚園の保護者や未就園児をもつ保護者(食育事業への参加者)へ配布した。 ○家庭での乳幼児等の食事の参考となる保育所の献立の選定作業を行った。	158	子ども保育課
③	多様な暮らしに配慮した子どもへの食支援	様々な事情を抱えた子どもへの食事の提供や地域との交流などを支援し、食生活の向上と望ましい食習慣の形成を図ります。	○市内において子ども食堂事業を実施する団体に対し、運営にかかる費用を助成した。 子ども食堂実施団体数:6団体 延べ実施回数:222回 延べ参加者数:6,519人	1,158	子ども政策課

《基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 次世代に伝えつなげる若い世代への食育の推進

①	高校生・大学生への食育推進	高校生・大学生等を対象に講話や実習による食育教室を実施します。	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう講話を行った。 (実施校2校、3回)	36	健康推進課
		食に関する情報提供や食育イベント等で正しい食選択が出来るように支援します。	○健全な食生活に関する情報提供 「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する動画配信を行い、普及啓発を図った。 (10シリーズ30本の料理動画を配信) ○食育啓発イベント 久留米大学学園祭:中止のため出展なし	2	健康推進課
②	母子保健事業における食育推進	妊娠届出の際に、妊婦の健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、必要な食生活指導等を行います。	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行った。 (届出数: 2,380人)	—	こども子育てサポートセンター
		離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、子どもだけでなく大人も含めた食生活支援に努めます。	○マタニティ教室や離乳食教室、子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図った。また、コロナ禍により事業が中止になった際には動画配信を行い、普及啓発を図った。 マタニティ食事教室1回、離乳食教室18回、 ゆったり子育て相談会31回、 集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児) 25回 子育て支援のための動画 6本配信	592	こども子育てサポートセンター

●個別施策2 生活習慣病予防・改善のための食育の推進

①	健康づくりを支える環境整備	くるめ健康づくり応援店事業により、市内の飲食店や食料品販売店等で健康情報提供や栄養成分表示などを行い、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進めた。 (登録数165店、ガイドブック5,500部) ○「くるめ健康づくり応援店アプリ」については、「くるめ健康のびのびポイントアプリ」と連携し、周知拡大を図った。 (R3年度中アクセス数:8,370)	223	健康推進課
②	地域における生活習慣病予防のための食育の推進	食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行います。	○食生活改善推進員が地域で行う、生活習慣病予防のための調理講習会は感染予防対策を徹底し、可能な範囲で実施した。 (実施回数5回、参加者数延べ77人) ○「主食・主菜・副菜をそろえる」、「野菜たっぷり」、「食塩を控えめ」をテーマにした季節のレシピや食と健康に関する資料を配布により、推進員自身の実践及び家庭、地域への普及啓発を図った。 (配布数延べ852人)	645	健康推進課
③	健診事業における食育推進活動	健康管理ブック等で、主食・主菜・副菜をそろえた食事などの情報提供を行います。	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行った。 (健康管理ブック配布数 23,000部)	—	健康推進課
		特定保健指導や糖尿病予備軍・高血圧予備軍を対象とした保健指導や教室を実施します。	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施した。 (特定保健指導、早期介入保健指導、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)	—	健康推進課 地域保健課
④	高齢者事業における食育推進	介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報発信に努めます。	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行った。 (口からはじまる健康長寿講座 5会場各1回 参加者延95人) (認知症予防講座10会場各2回 参加者延466人) (口の元気アップ出張講座 15回 参加者数217人)	—	長寿支援課 地域保健課

《基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進

①	農業体験の場の提供	市内の小学校での学童農園活動を支援し、小学校での農業・農村への理解促進を図ります。	○農業団体等が市内の小学校で実施する学童農園事業を支援し、児童の農作業体験や農業への理解促進を図った。(実施校:33校/44校)	3,298	生産流通課
		小学校を中心に、本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能などを学ぶ農業体験学習を推進します。	○市内の小学6年生2,785人を対象に久留米産農産物(令和3年度は梨)の学校配付事業に併せて、多面的機能のチラシを配付した。 ○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザで農業の多面的機能パネルの常設展示を実施した。 ○久留米市立中央図書館の「農業in久留米」の企画展にあわせて農業の多面的機能パネルの展示、多面的機能チラシの設置を行った。	643	農業の魅力促進課
		土づくり広場での農業体験を実施するとともに、農業者が行う消費者交流事業を支援します。特に、栽培過程全体を体験することで農業への理解を深めることができるように事業の見直しを推進します。	○市民に土づくり学習の機会やジャガイモ、ネモフィラ等の作付・収穫等の農業体験を行い、食育及び環境保全型農業への理解を促進した。(参加者:約10人)	1,000	生産流通課
②	食と農の情報発信	農業まつりの開催による生産者と消費者の交流や農業・農村の多面的機能について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進します。	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び予防の観点から第47回ふるさとくるめ農業まつりは中止した。	-	農業の魅力促進課

●個別施策2 地産地消の推進

①	地産地消を進める環境整備	市民や事業者に久留米産農産物であることを分かりやすくするため、流通過程における「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークの貼付を推進します。	○JAくるめ、道の駅くるめに対し、支援を行った。 JAくるめ:フリーズドライ(味噌汁)、サラダ菜、ほうれん草の各包装フィルム、朝市出荷用のくるっばシール 道の駅くるめ:キラリ久留米シール	863	農業の魅力促進課
		地産地消推進店等での、久留米産農産物の表示の支援を行い、市民が購入・消費しやすい環境を整備します。	○道の駅くるめ等の直売所に掲示するPR資材(のぼり、垂れ幕、パネル)を作成し、久留米産農産物の販売コーナーの表示強化を行った。 (設置店:9店舗) ○久留米産農産物PR動画「くるめさん、ぐるめさん」をJAの直売所やインショップ内の電子POPモニターで放映し、久留米産農産物表示の強化を行った。 (電子モニター設置店:17店舗) ○みづまの里農産物直売所(JAみづま)で久留米産農産物をPRする資材(のぼり)を作成した。 ○地産地消推進店の紹介チラシを作成し、広報に折り込むとともに、公共施設等で配布した。(130,000部)	641	農業の魅力促進課
②	地産地消の意識啓発	地産地消をテーマにした料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消への意識向上を図ります。特に、男性や子育て世代への参加を促進します。	○食生活改善推進員協議会と連携し、久留米産農産物を使用した4パターンの献立を調理する料理動画と久留米産農産物を紹介した地産地消動画を市公式YouTubeに公開した。 ○料理動画の献立を基にした久留米産農産物の料理レシピリーフレットを作成し、公共施設や関係機関等へ配布した。 (5,000部×4パターン)	1,467	農業の魅力促進課

《基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 食と環境について考え学べる食育

①	環境まなびのまちづくりの推進	生ごみ堆肥化や野菜づくりを指導する生ごみリサイクルアドバイザーを保育所、幼稚園、小中学校等に派遣し、体験を通して「食の循環」による食育の推進を図ります。特に地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大し、子どもから大人まで環境に配慮した食生活を送る市民を増やします。	○新型コロナウイルス感染症に対応しながら、生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を、未実施だった学校や地域に拡充し、生ごみの堆肥化・野菜づくりの体験をする場を提供した。またコンポストを使った生ごみリサイクルの動画を作成し配信した。 派遣回数:5回 参加者数162人 派遣施設:4施設 (小学校2・地域2) 動画2本再生回数:10,150回	56	資源循環推進課
		生ごみリサイクルによる土作りから野菜の植付・収穫、収穫した野菜を使ったエコ・クッキング教室を行うことで、食の循環や食品ロス削減について学ぶ機会を提供します。	○新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、参加者を集めてのエコ・クッキング教室を中止し、コロナ禍でもエコ・クッキングを広める方策として、使い切れずに捨てられがちな野菜の「使い切りレシピ」を久留米信愛短期大学の学生が考案し、その「使い切りレシピ」動画を配信した。 動画4本再生回数:1,249回	-	資源循環推進課
		家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーを育成します。	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促した。併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図った。 レベルアップ講習会:2回 参加者数:40人	27	資源循環推進課
		宮ノ陣クリーンセンター「環境交流プラザ」を拠点として、食育講演会、リサイクル講習会、3R学習会を実施し、食品ロスの抑制など持続可能な社会の実現に向けた食育の推進を図ります。	○環境学習の拠点として整備された同プラザなどで、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら環境学習を実施した。また食育講演会をオンラインで実施した。 生ごみリサイクル講習会:5回 参加者数:47人 3R学習会:23回 参加者数:1,336人 食育講演会:1回 参加者数:47人	133	資源循環推進課
		食やエネルギーを無駄にしない環境にやさしい料理講習会を開催し、環境に配慮する食生活を推進します。	○新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、参加者を集めての料理教室を中止し、コロナ禍でも食品ロスについての理解を深めるため、食品ロスに関する動画を作成し配信した。 動画3本再生回数:1,881回	-	資源循環推進課

《共通施策 食育への理解と関心を高める》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度実績報告	R3年度 決算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策 市民全体を対象とした情報発信

①	食育に関する事業・イベント等の情報提供	市民への食育啓発のシンボルイベントとして「食育フェスタ」を開催します。	○くるめ食育パネル展」の実施 「ふるさとくるめ農業まつり」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、食育推進会議の各部会の活動等を紹介した啓発パネルを作成し、市民への食育の情報発信・啓発を行った。 ・令和3年11月15日(月)～23日(火)ゆめタウン久留米店 ・令和3年11月24日(水)～12月9日(木)JR久留米駅東西自由通路 ・令和4年1月21日(水)～2月3日(木)三潴生涯学習センター ・令和4年2月4日(火)～2月20日(日)田主丸複合文化施設	180	農業の魅力促進課
		食育通信の発行や市ホームページ、広報誌を活用し、市民への食育に関する情報を積極的に発信します。	○毎月19日の『食育の日』に、関係部局で食育プランに関連する記事と各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、メールや市公式LINEラインで配信するとともに、商工政策課が発行している産業ニュース(メールマガジン)にて食育推進の啓発を行った。また、1月に食育友の会会員に対してイベントや食育に関する情報提供を行った。	-	農業の魅力促進課

第3次食育推進プランにおける目標指標の達成状況

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	2-1	ページ
基本施策Ⅱ	健全な食生活を推進する食育 【食と健康部会】	2-2	ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育 【地産地消部会】	2-2	ページ
基本施策Ⅳ	環境との調和を図る食育 【食の循環部会】	2-3	ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	2-3	ページ

達成度:評価基準

A 評価:実績値(R3年度)が、目標値(R3年度)を達成

B 評価:実績値(R3年度)が、基準値(H26年度)より向上したが、目標値(R3年度)を未達成

C 評価:実績値(R3年度)が、基準値(H26年度)より低下

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の達成状況

【様式2】

基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	目標 R3年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	実績 R3年度	達成状況	担当課
個別 施策 1	栄養教諭等が食育の授業や短時間の食育指導を実施した学校数の総計	%	53/63校 (84%) H27年度	63/63校 (100%)	A	学校教育課						
個別 施策 2	食育啓発促進校に指定された学校の総計	%	34/63校 (54%) H27年度	63/63校 (100%)	39/63校 (62%)	44/63校 (70%)	50/63校 (79%)	56/63校 (89%)	56/63校 (89%)	63/63校 (100%)	A	学校教育課
	朝食を欠食する小・中学生の割合	%	小学生 1.2% 中学生 1.9% H27年度	小学生 0.8% 中学生 1.8%	小学生 1.5% 中学生 2.8%	小学生 1.6% 中学生 2.3%	小学生 1.9% 中学生 2.8%	小学生 1.4% 中学生 2.6%	小学校 2.2% 中学校 3.0%	小学校 2.1% 中学校 2.5%	C	学校教育課
個別 施策 3	残食率の平均値	%	小学校 米 2.4% パン 3.4% 副食 2.2% 中学校 米 4.7% パン 3.5% 副食 3.2%	小学校 米 2.0% パン 3.0% 副食 2.0% 中学校 米 4.0% パン 3.0% 副食 3.0%	小学校 米 2.3% パン 3.1% 副食 2.4% 中学校 米 2.4% パン 2.5% 副食 1.7%	小学校 米 2.4% パン 3.0% 副食 2.4% 中学校 米 1.3% パン 0.9% 副食 0.9%	小学校 米 2.3% パン 2.6% 副食 2.5% 中学校 米 1.5% パン 1.3% 副食 1.0%	小学校 米 2.5% パン 3.0% 副食 2.7% 中学校 米 1.1% パン 0.8% 副食 0.7%	小学校 米 2.0% パン 3.5% 副食 2.3% 中学校 米 1.8% パン 1.7% 副食 1.2%	小学校 米 2.8% パン 4.5% 副食 3.3% 中学校 米 3.4% パン 3.6% 副食 2.6%	B	学校保健課
	学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合	%	49% (470t/959t)	50% (20t増)	44% (400t/903t)	46% (458t/995t)	46% (442t/971t)	47% (450t/962t)	44% (377t/865t)	44% (429t/ 987t)	C	学校保健課
個別 施策 4	保護者に対して2種類以上の食育啓発を行っている保育所・幼稚園・認定子ども園の割合	%	83.5% (81/97園)	100% (96/96園)	91.7% (88/96園)	87.5% (84/96園)	91.7% (88/96園)	95.8% (92/96園)	83.3% (80 /96園)	88.5% (85 /96園)	B	子ども保育課
個別 施策 5	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間当たりの「共食」の回数	回	(H28年度実績値)	+1回/週	12.7回/週	12.7回/週	12.5回/週	12.5回/週	12.6回/週	12.3回/週	C	こども子育てサポートセンター

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の達成状況

【様式2】

基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	目標 R3年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	実績 R3年度	達成状況	担当課
個別 施策 1	食育の取組を行う高校・大学の割合	%	72% (13/18校)	100% (18/18校)	67% (12/18校)	72% (13/18校)	72% (13/18校)	89% (16/18校)	- 事業無し	50% (9/18校)	C	健康推進課
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の「一週間当たりの共食」の回数	回	(H28年度実績値)	+1回/週	12.7回/週	12.7回/週	12.5回/週	12.5回/週	12.6回/週	12.3回/週	C	こども子育てサポートセンター
個別 施策 2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	%	56.7%	75%	57.5%	52.8%	51.3%	50.8%	- くるモニ調査中止	50.9%	C	健康推進課

基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	目標 R3年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	実績 R3年度	達成状況	担当課
個別 施策 1	農業・農村の多面的機能について学ぶ小学校の割合	%	0% (0/46校) H27年度	100% (46/46校)	0% (0/46校)	100% (46/46校)	100% (46/46校)	100% (46/46校)	100% (46/46校)	100% (44/44校)	A	農業の魅力促進課
個別 施策 2	地産地消を意識している市民の割合	%	49.4%	65%	56.8%	57.2%	56.1%	52.7%	- くるモニ調査中止	54.0%	B	農業の魅力促進課
	料理講習会の男性参加率と子育て世代の(40歳代までの)参加率	%	男性 11.2% 子育て世代 5.6%	男性 17% 子育て世代 12%	男性 8.8% 子育て世代 13.3%	男性 9.1% 子育て世代 13.4%	男性 12.0% 子育て世代 8.4%	男性 15.0% 子育て世代 4.9%	- 事業中止	- 事業中止	—	農業の魅力促進課

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の達成状況

【様式2】

基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	目標 R3年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	実績 R3年度	達成状況	担当課
個別 施策 1	生ごみリサイクルに取り組む団体数	件	92件	121件	106件	111件	113件	117件	120	123	A	資源循環推 進課

共通施策 食育への理解と関心を高める

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	目標 R3年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	実績 R3年度	達成状況	担当課
個別 施策 1	食育に関心を持つ市民(20歳代、30歳代)の割合	%	68%	73%	86.5%	89.3%	89.5%	85.5%	- くるモニ調査中止	83.3%	A	農業の魅力促 進課

第4次食育推進プランに基づく令和4年度事業計画

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	3-1 ページ
基本施策Ⅱ	健康づくりのための食育 【食と健康部会】	3-3 ページ
基本施策Ⅲ	食と農への理解を促進する食育 【地産地消部会】	3-4 ページ
基本施策Ⅳ	環境に配慮した食育 【食の循環部会】	3-5 ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	3-5 ページ

《基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R4年度事業計画	R4年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 学校、保育所等における子どもへの食育の推進					
①	食育プログラム研究推進事業における子どもへの食育の推進	久留米市栄養教諭等研究会で作成する「久留米市食育プログラム」年間計画に基づいて、担任と連携しながら生活科や社会科、特別活動等で食に関わる指導を実施し、児童生徒の食に関わる資質・能力の育成を図ります。	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭等が配置されていない中学校における食に関する指導を充実する。	401	学校教育課
		学校における食に関わる指導以外での食育推進活動(親子料理教室の実施、家庭への働きかけとしてのレシピカードや保護者向けの通信等の作成・配付及びレシピ動画作成・配信等)に対して支援します。	○食への関心を高める「親子料理教室」や「お弁当の日」を開催。 ○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」の作成・配布(年3回)。 ○「朝ごはん摂取率」向上へ向けた子どもや保護者、未就学児とその保護者への啓発。		学校教育課
②	魅力ある学校給食を通じた食育の推進	学校給食が、「生きた教材」として活用されるよう、「久留米市食育プログラム年間計画」と関連した献立年間計画を作成し、楽しい給食を通して効果的な食育を実施します	久留米市食育カリキュラムから作成した食育プログラムとリンクさせた献立年間計画を作成し、教科等と関連付けた指導が行える献立をもとに指導を行う	-	学校保健課
		献立のねらい(栄養バランスや噛むこと等)に基づいた給食指導資料を作成し、給食時間の放送資料として学校へ配付します。	献立のねらいと「給食」という体験を通じた、給食時間における指導の内容充実を図る。 「朝ごはん献立」を給食に取り入れ、朝ごはんの大切さについて、給食時間の指導、啓発を継続する。	-	学校保健課
		子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、「給食献立表」及び「給食だより」のお発行や試食会の開催など、家庭への食育啓発を行います。	児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信する。また、保護者や地域の方に対し、試食会を開催する。	-	学校保健課
③	学校給食への久留米産農産物の導入促進	久留米産の米を使用した主食に加え、旬の久留米産野菜を多く使用した副食による「地場産の日」を毎月2回設定します。	毎月2回、「地場産給食の日」の実施により、子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図る。	-	学校保健課
		久留米産農産物の積極的な活用を念頭に置いた献立年間計画を作成するとともに、新規献立を考案など、献立の工夫を行います、また、生産者と子どもたちとの収穫体験や交流給食等の活動を通して感謝の念を育みます。	地産地消の推進などを目的として、久留米産米による米飯給食を週4回実施する。また、献立年間計画を基に、地元食材を使った献立の開発など、学校給食への久留米産農産物の導入促進を図る。	-	学校保健課
		学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを行い、調理技術スキルと意欲を高め、学校給食における食事内容の充実と多様化を図ります。	学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを実施する。 日程: 令和4年8月9日(火)	-	学校保健課
④	保育所、幼稚園、認定子ども園等における子どもへの食育の推進	各園で様々な形態によって提供される給食が、子どもの発育、発達、健康状態、接触機能など、子どもの特性に応じて適切に実施できるように、食事計画や献立作成時に必要な情報提供による支援や研修などを実施します。	○施設職員向け給食・食育研修会を実施する。(計12回) 公立保育所3回、公立及び私立保育所8回、保育所・認定子ども園・幼稚園1回 ○認可保育所等で3歳以上児への主食提供による給食の充実及び家庭負担の軽減を図る。 ○各園において食育計画に基づき、感染対策を行いクッキングなど食育の取り組みを継続する。	59,058	子ども保育課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R4年度事業計画	R4年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策2 家庭・地域への食育啓発の推進

①	食育プログラム研究推進事業における家庭・地域に対する食育啓発の支援	学校、家庭、地域が自校の児童生徒の朝食を含む食生活の実態を把握し、課題を共有するとともに、その課題解決に向けた三者が協働して朝食摂取を促す取組を実施することに対して支援を行います。	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上、朝食摂取率の向上を図る。 ＜活動予定＞ 食に関するアンケート、生活リズムカード、食に関する講演会、地域人材を活用した野菜の栽培や調理等の学習、親子料理教室、お弁当の日、おにぎりの日の取組など	-	学校教育課
		朝食摂取を促す三者協働の効果的な取組が、他校への取組の参考事例となるように啓発を行います。	○朝食摂取を促す三者協働の取組や、各学校での食に関する取組等を、リーフレット、チラシ、動画等で発信を行う。	-	学校教育課
②	母子保健事業における食育支援	妊娠届出の際に、妊婦の健康状態や食生活などを把握し、リスクに応じた適切な食生活指導等を行います。	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行います。	-	こども子育てサポートセンター
		離乳食教室や子育て相談会などを利用し、子どもだけでなく大人も含めた食生活改善を促し、家庭での「共食」を通じた食生活の支援に努めます。	○マタニティ教室や離乳食教室、子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図ります。 【マタニティ食事教室4回、離乳食教室33回 ゆったり子育て相談会48回 集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)46回】	2,074	こども子育てサポートセンター
③	地域子育て支援センター、子育て交流プラザくるるん、児童センターにおける食育支援	地域子育て支援センターなどの子育て支援施設で実施する食育講座や離乳食相談会等を通じて家庭での正しい食習慣の推進を行います。	○子育て支援事業を通じて、共食など家庭での正しい食習慣の確立のため啓発を行います。 ・地域子育て支援センターによる食育講座(乳幼児食の講話及び調理実習) ・子育て交流プラザくるるんによる離乳食相談会 ・児童センターによる食育講座(乳幼児食の講話) ・子育て支援団体及び校区すくすく子育て委員会等への出前講座	33	こども子育てサポートセンター
④	多様な暮らしに配慮した子どもへの食育支援	様々な家庭の事情を抱えた子供への食事の提供や地域との交流を支援し、食生活の向上と望ましい食習慣の形成を図ります。	○市内において子ども食堂事業を実施する団体に対し、運営または施設整備にかかる費用を助成する。	3,384	子ども政策課
⑤	保育所、幼稚園、認定子ども園等における食育支援	給食献立表、給食だよりの発行、給食試食会や親子クッキングの実施、給食の展示など、保育所、幼稚園、認定子ども園において、家庭を含めた保護者への食育啓発の支援を行います。	○保育所、幼稚園、認定子ども園に対する食育に関するアンケートの実施及び食育講座を行い食育の啓発を行う。 ○乳幼児の食に関する情報提供の啓発冊子を作成し子育て世帯に配布する。	415	子ども保育課

《基本施策Ⅱ 健康づくりのための食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R4年度事業計画	R4年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 生活習慣病予防・改善のための食育推進

①	健康づくりを 支える環境整備	くるめ健康づくり応援店事業により、市内の飲食店や食料品販売店等で健康情報提供や栄養成分表示等を行い、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	○応援店の店舗数の拡大に努めるとともに、登録店で「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進める。 ○「くるめ健康づくり応援店アプリ」については、「くるめ健康のびのびポイント事業」と連携し、周知拡大を図る。	653	健康推進課
		給食施設に対して、栄養指導員により食を通じた健康づくりを促進するための支援・指導を行います。	○巡回指導や研修会を通じて、給食施設に対して食を通じた健康づくりを促進するための支援・指導を行う。(新型コロナウイルス感染状況による) 特定給食施設等届出数:226施設(R4.4.1時点)	123	健康推進課
②	地域における生活習慣病予防のための食育推進	食生活改善推進員が地域において、講話や調理実習等を通じて生活習慣病予防についての普及・啓発を行います。	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための資料配布や講話・調理実習を各地域で行う。(新型コロナウイルス感染状況による) ○「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行う。	1,877	健康推進課
③	健診事業・保健事業における食育推進	健康管理ブック等で、主食・主菜・副菜をそろえた食事等の情報提供を行います。	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行う。	—	健康推進課
		特定保健指導等の生活習慣病発症・重症化予防のための保健指導や出前講座を実施します	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施する。(特定保健指導、早期介入保健指導、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)	—	健康推進課

●個別施策2 生涯を通じた切れ目のない食育推進

①	若い世代への食育推進	YouTube動画等、手軽に情報を入力しているツールを活用して、食に関する情報発信を行います。	○YouTube動画の配信や高校・大学等へのポスター配布より、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」など、食に関する情報発信を行う。 (動画配信予定 5シリーズ15本、市内の高校・大学等18校にポスター2種類を配布予定)	84	健康推進課
		高校生・大学生等を対象に講話や実習による食育教室を実施します。	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話等により食育教室を行う。(新型コロナウイルス感染状況による)	189	健康推進課
②	高齢者事業における食育推進	介護予防事業の中で、フレイル予防や口腔機能の向上に関する講座を行います	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行う。 (口からはじめる健康長寿講座、認知症予防講座、口の元気アップ出張講座)	9,787	長寿支援課 地域保健課

《基本施策Ⅲ 食と農への理解を促進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R4年度事業計画	R4年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進

①	農業体験や生産者との交流を通じた食への感謝と農業への理解促進	市内の小学校での学童農園活動を支援し、小学生の農業・農村への理解促進を図るとともに、ふれあい農業公園等での農業体験を通じて、食への感謝の気持ちの醸成を推進します。	○児童が生産者との交流や農業への理解促進を目的として農業団体等が市内小学校で実施する学童農園事業を支援する。 ○ふれあい農業公園等での収穫作業や農業体験などを通して、食への感謝の気持ちを育む。	5,400	生産流通課 農業の魅力促進課
		農業まつりなどの開催による生産者と消費者の交流や情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進します。	○農業まつりや地域の農業関係イベントの開催を通じて、本市農業・農産物や地産地消の取組を紹介し、食と農への理解促進を図る。	9,779	農業の魅力促進課
②	農業・農村の持つ多面的機能の理解促進	農業まつりや中央図書館等において、農業の魅力や農業・農村の多面的機能を示したパネルを展示し、情報発信を行うことによる理解送信を図ります。	○宮ノ陣クリーンセンターの見学通路を活用した農業・農村の多面的機能や食育の重要性を示したパネル展示を実施する。 ○農業まつりや中央図書館の農業関連企画展において、農業の魅力や多面的機能のパネル展示やチラシ設置を行う。	—	農業の魅力促進課
		食と農の重要性を理解し、久留米産農産物に愛着を持ってもらうため、小学生を中心として、本市農業の特長や魅力の発信に取り組みます。	○本市農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能を紹介するチラシを作成し、久留米産農産物の学校配付事業に合わせて配付することで、周知・啓発に取り組む	650	農業の魅力促進課

●個別施策2 地産地消の推進

①	久留米産農産物を購入しやすい環境整備	久留米産農産物であることを市民や事業者が認識しやすくするため、流通過程における「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークの貼付を推進します。	○久留米産農産物の市民及び事業者への認知度を向上させるため、「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークを活用した久留米産農産物の包装資材やシール作成に対して支援を行う。	1,000	農業の魅力促進課
		市内スーパーや小売店等で久留米産農産物の表示を強化するため、効果的なPR資材を作製・配付し、掲示してもらうなど、市民が購入・消費しやすい環境を整備します。	○市内スーパーや小売店等で久留米産農産物の販売ブースの表示を強化するため、個々の店舗に応じたPR資材を作製・配付するとともに、久留米産農産物PR動画を放映するモニターを設置する。 ○地産地消推進店のPRチラシを作成し、広報に折り込むとともに、市公式ホームページに掲載している内容の充実を図る。	737	農業の魅力促進課
②	地産地消の意識啓発	久留米産農産物を使ったメニューを考案し、地産地消動画の配信や料理講習会の実施等による情報発信を行い、伝統食や地産地消への意識向上に繋がります。	○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域で久留米産農産物を使った料理講習会を実施するとともに、リーフレット等を活用し、市公式YouTubeに公開している地産地消動画を紹介する。	1,385	農業の魅力促進課
		飲食店や保育所・幼稚園及び医療・福祉施設等に対する久留米産農産物の利用について、情報発信に努めます。	保育所・幼稚園及び医療・福祉施設等への久留米産農産物の利用促進に向けて、PR等に努める。	—	農業の魅力促進課

《基本施策Ⅳ 環境に配慮した食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R4年度事業計画	R4年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策1 食と環境について学び考える機会の拡大

①	環境まなび のまちづくり の推進	生ごみの堆肥化や野菜づくりを指導する生ごみリサイクルアドバイザーを保育所、幼稚園、学校、地域等に派遣し、体験を通して「食の循環」による食育の推進を図ります。特に地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大し、子どもから大人まで環境に配慮した食生活を送る市民を増やします。	○新型コロナウイルス感染症に対応しながら、生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を実施する。また、地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大するため、地域への事業周知を工夫して行う。	306	資源循環推進課
		家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーを育成します。	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促し、併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図る。	32	資源循環推進課
		新たな日常における暮らし方や働き方の変化に応じ、食品ロスやごみ減量、再利用をテーマとした動画を作成し、情報発信を強化します。	○アドバイザーによる生ごみリサイクルの動画やボカシ作り動画の作成等コロナ禍でも実践できる生ごみ堆肥化の手法を学ぶ場の提供を行う。	-	資源循環推進課
		宮ノ陣クリーンセンター「環境交流プラザ」を拠点として、食育講演会、生ごみリサイクル講習会、3R学習会を実施し、食品ロスの抑制など持続可能な社会の実現に向けた食育の推進を図ります	○環境学習の拠点として整備された環境交流プラザなどで食育講演会、生ごみリサイクル講習会、3R学習会等を実施し、環境に配慮した食育の推進を図る。	153	資源循環推進課

《共通施策 食育への理解と関心を高める》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R3年度事業計画	R3年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	----------	---------------------	-----

●個別施策 市民への情報発信

①	新しい生活 様式に対応 した情報発 信	市民全体を対象として、食育をテーマとする展示会等を開催し、食育への関心度・認知度向上に努めます。	○食育啓発展示の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」と同時開催により、幅広い年代の多くの人への食育啓発を行うことを目指す。 また、新しい生活様式に対応した形式で市民団体との協働により開催する。 日時:令和4年11月12日(土)、13日(日)※予定 会場:未定	600	農業の魅力促進課
		市公式LINEを使った食育通信の発行や、SNS等を活用した食育移管する事業やイベントの告知を行い、特に若い世代に向けた情報発信の強化を図ります。	○毎月19日の「食育の日」に関係部局が実施している活動を「食育通信」としてまとめ、市公式LINEで配信するとともに、市ホームページに食育に関するイベントや様々な分野の食育情報を発信する。 ○商工労働ニュース等を活用して、職場での食育についての啓発を行う。	—	農業の魅力促進課